

# リトルスター

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

そして、今年度もいよいよわすか

たくさんの出会い、子ども達の大きな成長が見られた1年でした。いつも温かいご支援誠にありがとうございました。

残りの日々もおもいきり楽しみたいと思います。

今月もよろしくお願い致します。



## 2月の英語フレーズをおさらい

### アクション

Can youを使った表現で使ってみてね

例：Can you play ( )?

Yes! I can ( )

No, I can not ( )

Can you play ( )?

Yes I can,

No I cannot



Rose



Daisy



Tulip



Snapdragon



Forget-me-not



Orchid



Sunflower



Daffodil



Lily

## 3月のテーマ

Spring & flower

季節（春）と花

★課外英語教室★  
体験クラスご参加ください

毎週 火・木曜日  
対象：年少さんから年長さん  
1回コース¥5,000 (税込み)  
※テキスト代別途

リトルスターへのお問い合わせはLineまたはHPまで

<https://www.lscollge.net/>

お気軽にご連絡ください





はじめての  
一人暮らし。  
アパートに  
母は出向いて、  
生活用品の準備を  
手伝った。



地元の特設専門学校を卒業して、  
地方都市の企業に就職した息子。



団 士郎

たまにかけてくる電話で、  
元気にやっているようだと思っていた。



1年経った頃、  
出張で息子の  
職場近くに  
出かけること  
になった。



良い機会だからと、  
久しぶりにアパートを訪ねた。



預かっていたスベアキーを  
差し込もうとしたが入らない。  
部屋を間違えたかと焦ったが  
そんなことはない。



昼休み時間になるのを  
待って、息子の  
スマホに連絡をした。



というと、電話の向こうで  
ためらう気配があった。



尋ねてもはっきり言わない。



とりあえず仕事が  
終わる頃に  
会社近くで食事を  
する約束をした。

少し遅れて  
やってきた息子に



だがいまいひとつ  
要領を得ないまま、  
仕事が大変で、とか言う。



新人だから覚えなければ  
ならないことが多く、  
一日のノルマも  
なかなか終えられない。



連日、深夜までの仕事で帰宅して、  
翌朝また出勤が負担になった。



車通勤だったので、  
会社の駐車場で仮眠をとった。

それが度重なるようになり、週末自宅に戻っても、郵便受けを覗いて寝るだけ。



そんなことをしていたら、通知はあったのだから、電気が止まった。

手続きが滞ったままスルスル車生活をしていたらガスも止まった。



それからは仕事を終えて会社近くで夜食を食べ、銭湯に出かけた後、駐車場の車で眠った。

着替えも車に運び、支障もなかったのでアパートは解約してしまった。



だから今、...

企業勤めの息子がホームレスになっていて驚いた！と話す母。



経過を聞きながら、あり得ることか...と思った。

掃除しなければ汚れる。洗濯物は溜まる。支払わなければ電気もガスも止まる。



でもこれまでは気にしなくても、誰かが上手くやってくれているのが住まいだった。



そうではないことを一人暮らしをして初めて経験した。



そこで考えた結果が、今の選択だった。たしかにどの策を選ぶかは個人差もある。

勤めた会社には、ブラック企業の側面があった。新人には深夜までかかって、片付かないようなノルマ。



息子には何かと対応しようと精一杯頑張っていた。

だが生活の諸々のことにまで気持ちも手も回らなくなっていた。



ネットカフェ難民なんて言葉を以前、耳にした。車で生活する米国の低賃金労働者のニュースも目にする。

でもまさか息子が！と彼女はあきれ気味に若年労働者の今を嘆いた。

ネバならない暮らしの形などないのかもしれない。

だが、どうしようも個人の自由だなどと言って壊し続けた大切なモノがたくさんある気がしてならない。



“木陰の物語” 広がる! プロジェクト



<https://nonblock.net/kokage/>

「木陰の物語」を読んだ感想や、あなた自身の物語をお寄せください。

「非行少女」

in the shade of family tree

木陰の物語



団 士郎

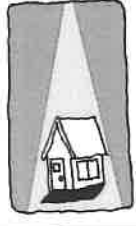
相談中の少女が家出をして、  
所在が分からなくなっていた。



事情があつて、  
どうしても早急に  
見つけてやらないと、  
と焦った。



子どもたちの多くは、  
自宅の他に、  
帰るところがない。



その時、同じ地域の  
非行少年たちのことを  
思い出した。



歳の離れた青年たち  
との付き合いも  
少なからずあつた。



あてがあつたわけではないが、  
校区周辺を捜し歩いた。



思いつく家を  
何軒も突然訪ね、



「行くところがなかったら児童相談所の  
一時保護所においてと伝えてくれ」と  
あちこちで話した。



そのどこの家の  
離れ家において、  
捜しに来た声を  
聞いていたらしい。



それで出てきたわけでは  
なかったが、  
心配してくれる人が  
いるんだと思つたという。



この話を聞かされたのは、  
三十年以上も後のことだ。



ある日、私の仕事場に  
電話がかかってきた。



「私、分かる？」



そんなことをいきなり  
電話口で言われても…



でも話していてすぐ思い出した。



会いたいというので、  
後日の来訪を約束した。



「あの時、捜しに来てくれたやん」



「でも後で相談所に行った時、怒らへんだやる…」



私は何の話だと  
いぶかしがりつつ、  
そんなことを  
覚えているんだなあ  
と  
思った。

心配して捜してくれる人、  
見つかったも怒らない人が、  
嬉しかったのだと  
ずっと後になって気付いた。



それまでずっと、  
他人は心配するふり  
をして怒っていたけ  
だと思っていた。



力不足の  
両親のことも、  
馬鹿にしていると  
思っていた。

どうしようもない親でも  
他人に言われると  
腹が立った。



そんな時に、  
夜中まで自分を  
捜し歩いて  
くれている人を  
知った。

怒っても、  
いら立ってもいなかった。



行く場所がないので  
はないかと  
案じてくれていた。

それまで誰もそんな風に  
思ってくれなかった。



見つかったら  
叱責の嵐だった。

本当は  
ああして欲しかったんだと  
思った。



それをずっと  
心の中に  
秘めてきた。

今頃になって、  
それを伝えるのが  
恩返しだと気付いた。



だから今日、来たと言った。



私は胸がいつばいで、  
何も言えなかった。

“木陰の物語”  
広がる! プロジェクト



<https://honblock.net/kokage/>  
「木陰の物語」を読んだ感想や、  
あなた自身の物語をお寄せください。

みなさんこんにちは。  
 こどものとも社の高林信作と申します。  
 原町幼稚園さんに福音館書店の月刊絵本『こどものとも』をお届けしています。  
 ここでは、人類史の話をベースに、書籍や絵本の紹介をしていきたいと思ひます。

## 『脳の進化と絵本の読み聞かせ』の話

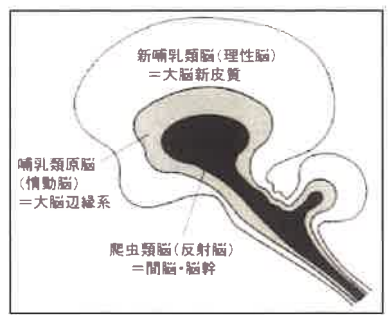
今回は泰羅雅登先生の『読み聞かせは心の脳に届く』という本を参考に脳の進化と読み聞かせについてお話します。

私たち人間の脳は三層の構造をしています。いちばん深いところは、**脳幹**や**間脳**とよばれる部分で、ここは心臓を動かしたり、体温を維持するなど、**生存するための働き**をしています。一番古くに発達した脳で両生類、爬虫類にもあるので、「爬虫類の脳」とも言われています。



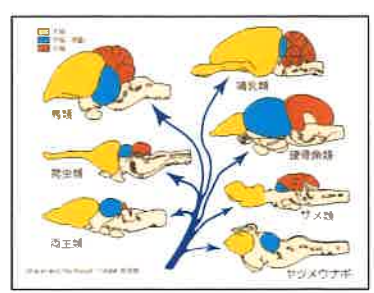
その上にあるのが**大脳辺縁系**という部分で「爬虫類の脳」の次に発達しました。「旧哺乳類の脳」や「馬の脳」とよばれています。

感情、情動に関わる部分で、危険を察知して行動したり、嫌な経験をしたことは次からは避けたり、楽しかったことは繰り返したりと、**自身の生存確率を高めるための働き**をしています。まだ私たちの祖先がサルに近い時代、私たち哺乳類は非常に弱い存在でした。大型動物、大型の鳥類などの捕食者が多く、常に生存の危険にさらされていました。そのような環境で生存していくには、まず危険を感じたら逃げるという行動を取り、餓死してしまう危険性も高かったため食べることを優先するようになりました。このような生きることに必要な行動の選び方は理性的に考える以前のものです。それらを司っているのが**大脳辺縁系**です。



いちばん外側にあるのが**大脳新皮質**で、「新哺乳類の脳」ともよばれています。感覚や五感、運動、言葉、記憶、思考、理性など人間を人間たらしめている脳です。

海で生まれた単細胞生物は多細胞生物へと進化し、魚の仲間が生まれ、陸に上がり両生類となり、そこから爬虫類、鳥類、哺乳類と種類を増やしてきました。からだの変化、進化に伴って、脳も進化を続けてきました。私たち人間の脳はその進化の過程を受け継ぎ、古いものも持ちながら今の形になっているということです。



ではここから、脳と読み聞かせの関係の話に入ります。

みなさんは子どもに絵本を読み聞かせると、どのような効果があると考えているでしょうか？「聞く力」「想像力」「創造力」「語彙の獲得」「コミュニケーション能力」「表現力」などなど様々な力が獲得されるといわれています。泰羅先生は脳科学を用いて読み聞かせの解明に取り組まれました。

研究の結果、「読み聞かせは心の脳を育む」という結論を出されました。  
泰羅先生のいう心の脳とは二番目に発達した大脳辺縁系のことです。この部分は感情や情動に関わる脳で、さらには生物として生存確率を高める本能を持つ部分でもあります。言い換えると『生きる力』を生み出す部分とも言えます。  
親子の読み聞かせはこの大脳辺縁系に働きかけていたのです。

子どもが絵本を聞いている時の脳活動の大きな特徴として、言葉に関わる場所（側頭連合野）よりも、大脳辺縁系の活動が強まることが明らかになりました。これは知識や言語より、感情や記憶の部分に多くの刺激がいつているということです。  
読み聞かせは様々な認知能力が育つと言われますが、実はそれらの土台となる非認知能力を育てていたという事実を脳科学が解明してくれました。

さらに読み聞かせをしている親の脳もコミュニケーションをとるときに使われる部分や、相手に共感する、相手の気持ちになって考えるときに使う部分が多く働いていたそうです。

親子の読み聞かせは、親子のコミュニケーションにより、子どもの生きる力を育み、親子の強い絆を形成していく大切なものなのです。

大好きな人の声で、楽しい物語を聞くことによって、子どもの心は豊かになり幸せな時間を過ごすことができる。これが絵本のもつ本当の力ではないでしょうか。  
ぜひ親子で絵本を楽しんでいただきたいと思います。

#### 参考書籍



子どもたちに大切なことを脳科学が明かしました

くもん出版：川島隆太・松崎泰/編著

15年にわたる  
脳科学の研究活動が  
子どもの脳や心の発達と  
日々の生活活動との  
関係を明らかに！

#### オススメ絵本



ぼとんぼとんはなんのおと

いろいろな音を楽しみながら春を待つ熊の親子  
冬ごもりの穴の中で、クマの母さんはふたごの坊やを産みました。坊やはおっぱいを飲んで少しずつ大きくなり、外から聞こえるさまざまな音は何の音とたずねます。「かーんかーん」というのは木こりが木を切る音、しーんと静かなのは雪が降っている時、「つっぴいつっぴい」は、お天気でヒガラが歌う声、そして「ぼとんぼとんってなんのおと？」それはうれしい春の兆し。春を待つ熊の母子の交流と、季節の移り変わりを暖かい言葉と絵で描いた絵本です。  
福音館書店：神沢 利子 作 / 平山 英三 絵

**はらっぱをご覧の皆さんこんにちは。**

自家焙煎珈琲屋花野子の齋藤大地と申します。

この時期は卒業、入学、転勤などで珈琲の贈り物のご注文や、イベント出店、週末の夜営業などで、忙しない日々（嬉しい）が続いてますが、そこに横槍を入れるかの様な花粉との戦いの日々でもあります。何か最強の花粉対策がありましたら教えて下さい。

僕からは最弱の花粉対策を皆様にお伝えします。

珈琲の効能効果には様々なものがあります。

コーヒーに含まれるカフェインの効果は覚醒作用です。

頭がすっきりして集中力が高まったり、

利尿効果により体内の老廃物の排出を促します。

またコーヒーに含まれるポリフェノールの効果（赤ワインに匹敵する量が含まれる）は、活性酸素が引き金となって起こるがんや、動脈硬化、心筋梗塞などの生活習慣病の予防。

また、ポリフェノールが紫外線から肌を守り、美肌効果があると言われていま

す。

園長先生の化け物の様な若さの秘訣は花野子の珈琲かもしれません。

そして何よりコーヒーの香りよるリラックス効果。

昨今のストレス社会には、コーヒーが必需品です。

色々な効果効能がありますが、

なんと花粉症にも効くと言われてています。

コーヒーに含まれるクロロゲン酸というポリフェノールが、鼻炎症状の中でもくしゃみに対して効果があるらしいのです。

研究論文によると、アレルギー鼻炎の予防効果と、症状改善効果があったらしいのですが、今のところ僕の鼻には効果は見られません。ゴルフでも行こうものなら、終日くしゃみも止まりません。

この最弱の花粉対策を信じるか信じないかはあなた次第です。



## 花野子が出るまでの物語 その5

バツ八での修行が始まった。

当時、息子が西船橋に下宿していたため、そこへ寝泊りしながら、月に数回、約半年間それは続いた。

ハンドピックして焙煎、毎回自分で焙煎した豆を何キロもバックに入れて持ち帰った。

そして、それを友人や知人たちに飲んでもらい、批評してもらった。

また、これがお店始めるよという宣伝にもなっていた。

帰りの電車では、珈琲の香りをプンプンさせた珈琲男であった。

6月頃から場所・物件探しが始まる。

いざとなると、なかなか思うような物件に出会えない。

また不安や焦りが大きくなり、次第に会話が減る

・・・といういつものパターン。

そこに来て失業保険もそろそろ終わり

8月、お店の名前は どうしよう？色々案をだしてもぴんとこない。

そうだ！詩人の野歩ちゃんに相談しよう。

電話をすると、野歩ちゃんから1分で答えが かえってきた。

「花野子」 清一は妻の名前など とんでもない！大反対。

野歩ちゃんは、由来を教えてくれた。

「清一がサラリーマンを辞め、野におりお店という子を持って、もう一度花をさかせよう。という思いが詰まってる。」と聞き、

かの子は、自分の名とは別物と考え、その字も素敵だし大賛成した。

そののち清一を説得するにあたり、野歩ちゃんとかの子は相当苦労した。

9月に入ると清一は、「いい場所があった、決めようと思う。」と、

今沢の今の場所を探してきた

バツ八の田口社長と中川部長にも、わざわざ東京から来ていただき、

物件・場所をみてもらい、ここでよしと大小判をもらう。

つづく・・・

花野子インスタ



ご注文は電話でも 969-2830



# 子育てのアレコレにまつわる つぶやき⑩『不確実と付き合う』



京都光華女子大学心理学科 大谷多加志

先日、学科の同僚の勧めで 2016 年に放送された NHK スペシャル「ママたちが非常事態？」の DVD をかなりの周回遅れで視聴しました。思いがけず、いつもお世話になっている研究機関の先生の少し若い頃の姿を画面の中に見つかりもして、おもしろく拝聴しました。この番組は学生さんにも好評だったそうなのですが、ただ、その評価のされ方に少しだけ違和感がありました。

この番組では産後の母親のメンタルの変化や、赤ちゃんの行動の背景について、科学的な知見から説明していきます(ホルモンや脳の変化など)。説明自体に異論があるわけではなく、番組の MC や出演者の方も「理由がわかると安心する!」「こう対応したらいいんだあ」と感想を述べておられました(もちろん出演者のリアクションとしてやっておられる部分もあると思いますが)。

少し気になったのは、このような説明によって子育てや子どもの行動のすべてが理屈で説明でき、理由がわかれば何事も正しい対応ができるような印象をもたらしそうだと感じたことです。番組では脳科学や生理学の知見なども多く紹介されていて、これらの説明は一定の説得力があり(ある意味言いたい放題の部分もありますが)、何となく納得させられますし、理由がわかるとスッキリする感覚があるのもわかります。ですが、正直言って、子どもってどこまで行ってもよくわからない部分があるし、どう対応すればいいかも結局ひとりひとり違う気がします(そして、どうしようもない時もあります)。

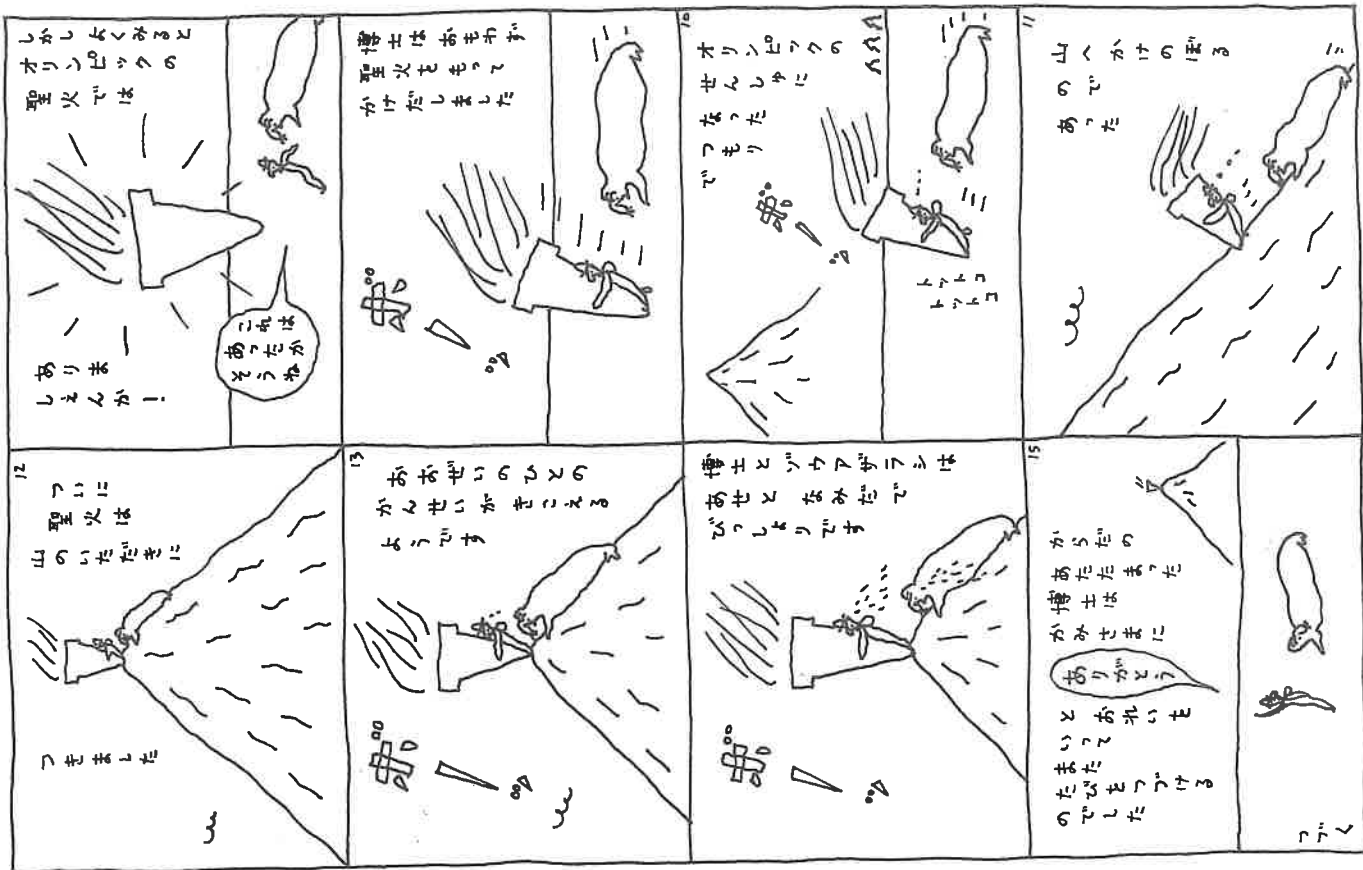
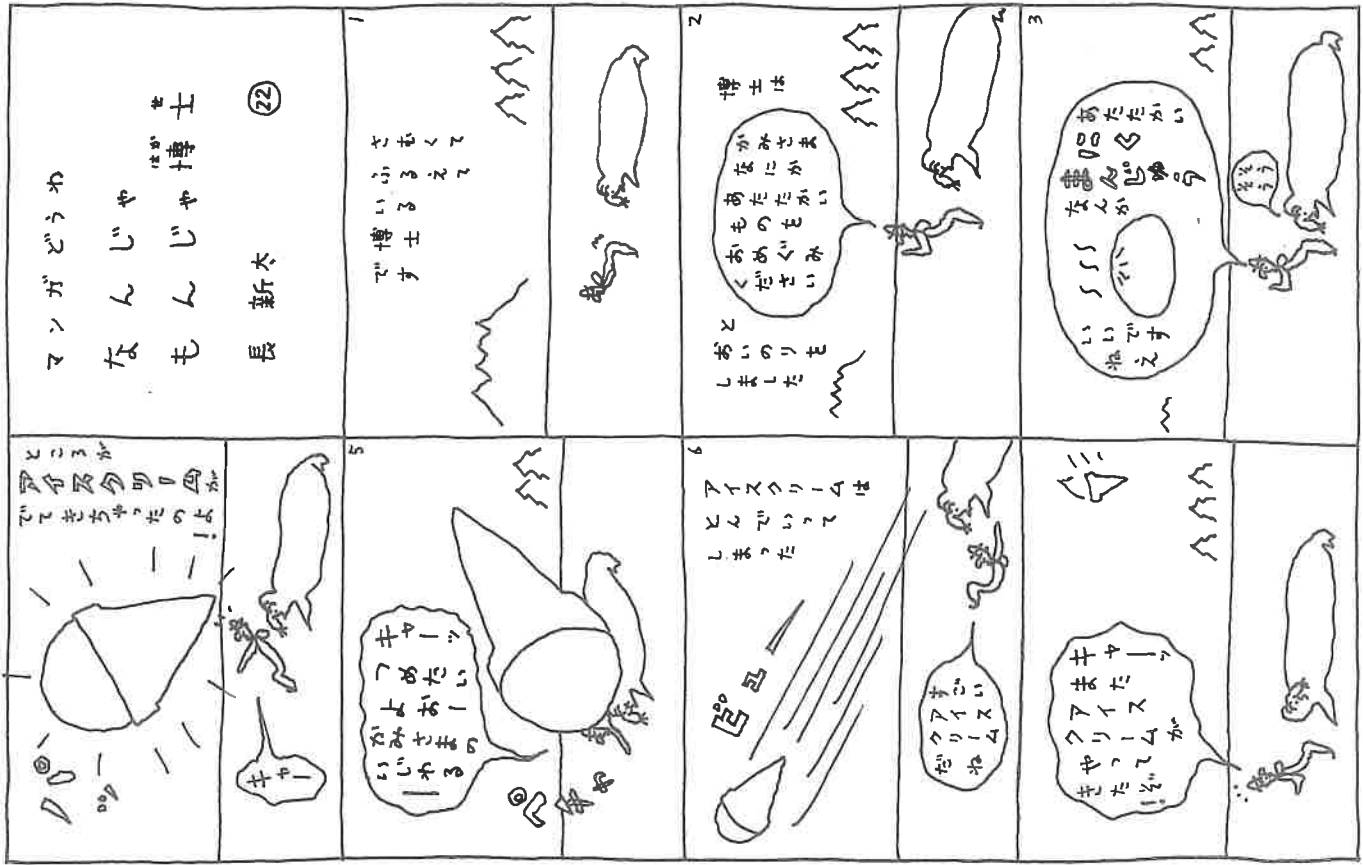
最近、時々耳にするようになった言葉に「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉があります。イギリスの詩人であるジョン・キーツが述べた言葉で、「急いで事実や理由を求めず、不確かさや不可解なことがある状態の中に留まることができる力」とされています。ますます先を見通すことが難しくなった時代の中、私たちより先の時代を生きる子どもたちを育てていくために、大人にも簡単に答えを求めず不確かさと付き合っていく力が求められているような気がしています。

よく考えたら なんて

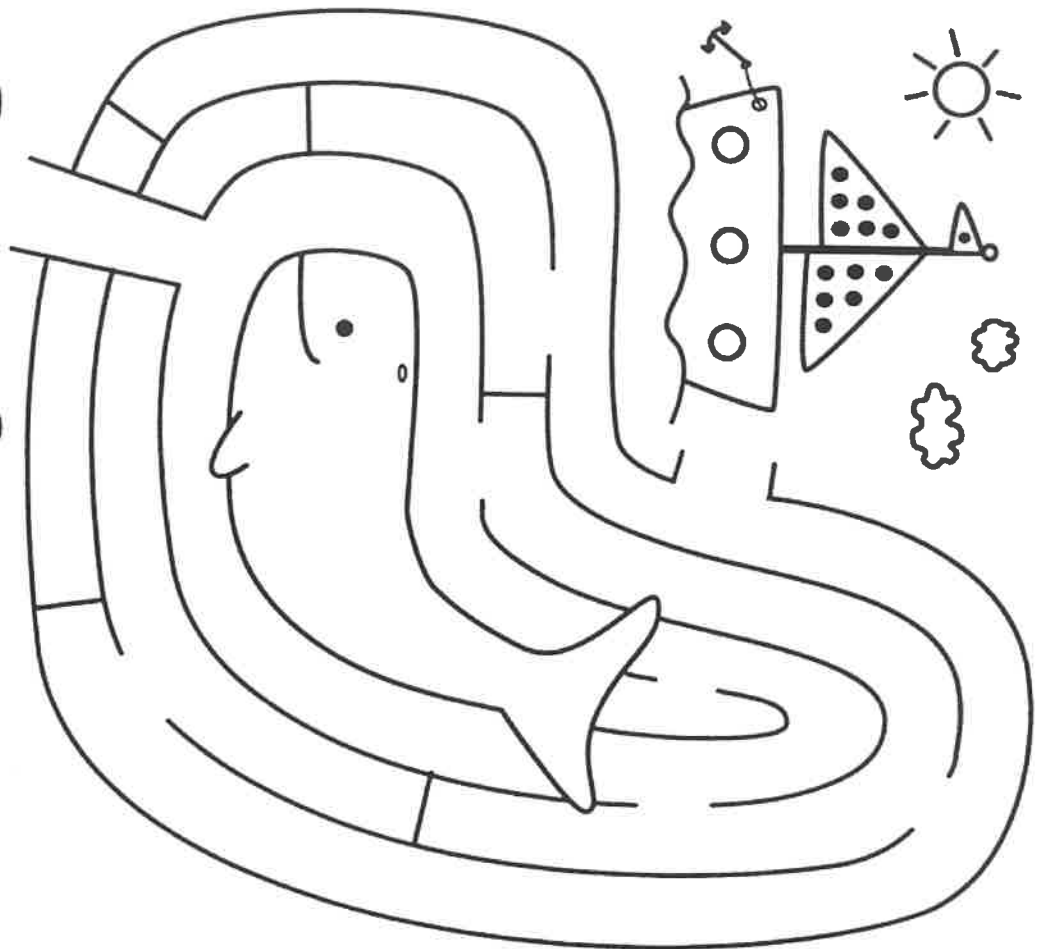
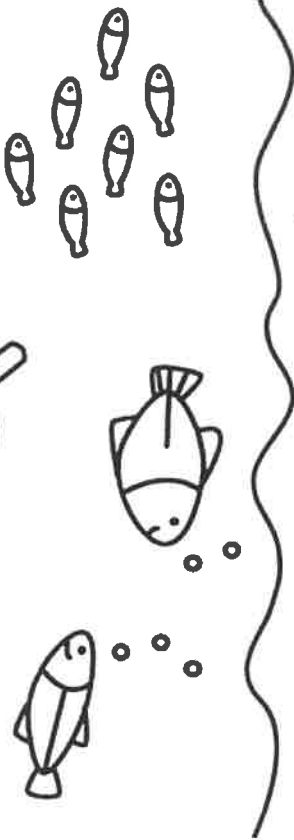
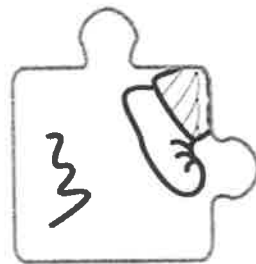
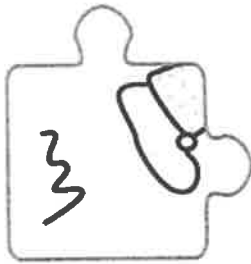
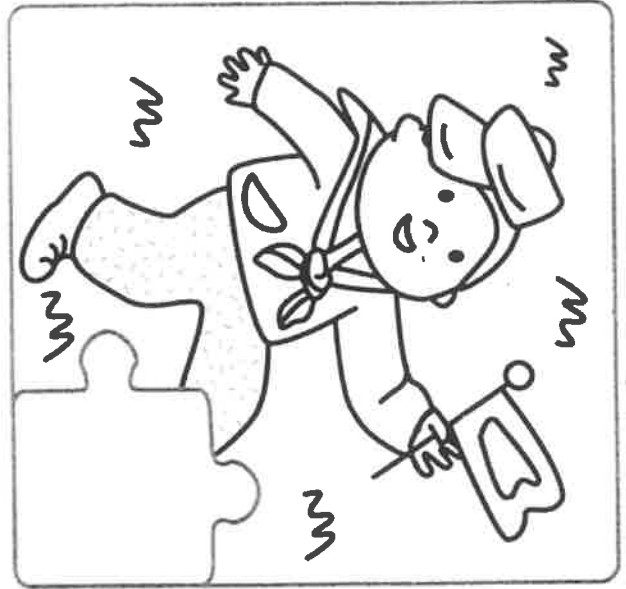
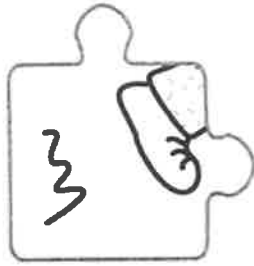
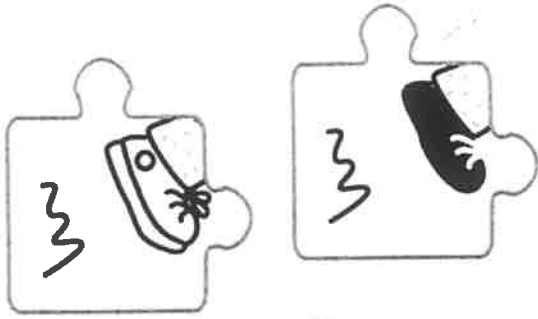
不確実 ≡ ネガティブなのかな...

le





るむくなるよ、あたたかにくまんじゅうがよい。でもね、博士はあたたかい心のほうがもつよ、と思ってるのです。



# 一年の感想特集



いよいよ今年度最終号となりました😊

職員一同今年度も「上機嫌」で「一生懸命」子どもと真剣に向き合ってきました。その成果ではありませんが、先生達も保護者の皆様から忌憚のないご意見ご感想を聞けることが何より励みになります。

最終号は一年の感想の特集となります。まだまだ感想募集していますので、ひと言書いていただけると嬉しいです😊

年中さんになり、あっという間に1年経ってしまいます…。

〇は年少さんの時にはお昼寝をさせてもらっていたので、年中さんになってお昼寝がないのがとても不安でした…。

年少さんの時には、お昼寝をさせてもらっていても、帰ってからグズグズ癩癩を起こしたり、朝はわたしが手をつけられないくらい泣き喚いたりしてました。

家に帰ったらとにかく早く寝かせなきゃということしか考えていませんでした…

年中さんになったばかりの頃もやっぱり眠かったりでグズグズしてたので、家に帰ってもバタバタでした。

夏休み明け頃からだんだんとグズグズする日も少なくなり、幼稚園であった事を色々話してくれる日が増えて帰ってからもゆっくりお話し出来る日が増え、凄く楽しい嬉しいです。

帰ってから洗濯物を自分で出したり、朝も自分で支度をしてくれています。

まだ朝泣いてしまうこともあります、門から1人で行けるように頑張っています。

(まだまだ下駄箱まで一緒に行って…という日が多いですが…)

この1年でものすごい色々成長したなーと日々驚いています。

わたし自身も子供達とちゃんと向き合えているので親子でとても成長した1年でした。

毎日楽しい幼稚園生活が送れていて、原町幼稚園にいれてよかったなあって改めて思っています。

ありがとうございます。

来年は2人になるのでまた色々とお楽しみが増えます！

いつも子どもたちのことを丁寧に見てください、ありがとうございます。先生方(担任の先生方以外でも)に会うと、いつも子どもたちの細かなエピソードを交えてお話をしてくださり、安心することができます。

子どもたちは幼稚園のお友達、先生、生活など幼稚園のすべてが大好きです。(娘は将来は幼稚園の先生になりたいな、と言っています。)先生方が、いつも子どもたちに寄り添い、たくさん声をかけてくださったから、幼稚園を大好きになれたのだと思います。いつも、子どもたちのやる気に火をつけたり、頑張りを認めたりしてくださり、本当にありがとうございます。

(子どもたちは、先生方から褒められたことなどをいつも嬉しそうに報告をしています。)

娘が卒園し、4月からは息子だけの幼稚園生活が始まります。娘の小学校生活への不安もありますが、それよりも、ねえねなしの息子の幼稚園生活…。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、引き続きよろしくお願いします。

## さりげなく ナイスパス！

2月下旬の夕方6時頃、先生たちはすでに退勤していて、あそびっこの掃除と片付けを終えた和美先生が帰りのあいさつに職員室に寄ってくれた。そのとき、「今日はとてもいいことがあったので、話を聞いてもらいたい」としてくれた話。

今日はあそびっこの子どもたちとボールで遊んでいた。円くなって隣の人に順番にボールをパスしていくあそび。はじめは年長さんとやっていたけど、そのうち年少さんも「いーれて」とやってきたので円に加わりパスを再開した。ところが、年少さんはまだパスがうまくできない。おまけに、年少さんの隣の年長さんもボールが得意じゃないので、その二人のところで、キャッチがうまくいかずボールが何回も転がっていった。それを、反対側から見ていたNちゃんが「ねえ、場所かわろ！」と提案した。その意味はすぐには伝わらず、「どうして？」と怪訝そうな顔をしながら年長さんは交代してくれた。こんどはうまくいく！年少さんにはボールの扱いが上手いNちゃんから取りやすいところにパスがいく。ボールが苦手な年長さんから和美先生にパスがいくけど、大人だし多少ブレても大丈夫。楽しいキャッチボール遊びが成立して、みんなひとしきり遊んで満足し部屋に入った。

ちょっとした出来事だったけど、和美先生はいたく感動している！「だって、あそびが中断しちゃうから上手な子にとってはイライラするのに。ちゃんと投げて、とか、あ〜下手だなあ、とか一言も言わずに見てて、「かわろー！」って言える判断、すごくないですか！」

まったく同感！状況を観察して、ほころびをどうやったらカバーできるか…そんなことを瞬時に考えて、ポジションを変われれば上手くいくという答えを口に出して、実行して、みごとにうまくいった。

園で常々子どもたちに浸透させている「自分で考える」→「そしてやってみる」を体現してくれたんだなあ…と、残業で疲れてたけどパーっと晴れやかな気持ちになった。園長 鶴谷主一





Haramachi

はらまちようちえん編集・発行

410-0312 静岡県沼津市原199の1  
phone 055-966-7338 fax966-7370  
<http://www.haramachi-ki.jp>

CLASS

NAME



じてんしゃとすけーたーをかいてあげましょう

こどものはらっぱ3月号

くみ/なまえ

ようちえんでのってるストライダーでもいいね!

じてんしゃをかいてあげましょう



スケーターをかいてあげましょう

